

総領事館便り8月号



＜総領事館ニュース＞

☆EJJC 永山和子賞授与式

7月13日（月）当館講堂にて、先般6月20日の全国日本語弁論大会で準優勝に輝いたアイルランガ大学人文学部日本研究学科のグラム・ビンタン・シャーリアルさんに対して、EJJC永山和子賞の授与式が行われました。ビンタンさんは5月23日に行われた東ジャワ地区日本語弁論大会で準優勝し、6月20日の全国日本語弁論大会へ出場。全国大会においても準優勝という優秀な成績を収められました。将来の夢は日系企業で勤務することだというビンタンさんは、第30回 ASEAN 日本語スピーチコンテストに出場するため10月に日本へ招へいされる予定です。表彰式にはビンタンさんのご両親や大学の先生方も出席され暖かい雰囲気の中で行われ、挨拶では加藤総領事から「東ジャワ州の大学生が優秀な成績を収め喜ばしい。日本で多くのことを感じてきて欲しい」、河口EJJC会長より「東ジャワ地区日本語弁論大会審査時、ビンタンさんの弁論に感動した。さらに練習して日本でも弁論を披露し、感動を広めて欲しい。これからは是非勉学に励んで、将来は日系企業で活躍していただきたい」など、激励の言葉がかけられました。

☆第13回スラバヤよさこい祭りの開催 —チャンディック・アユBが総合優勝—

8月2日（日）、スラバヤ市の「バライ・プムダ」（スラバヤ市多目的ホール）にて、在スラバヤ日本国総領事館、スラバヤ市、高知市の共催で開催する「文化交流芸術祭」の一環として、「第13回スラバヤよさこい祭り」が行われました。「スラバヤよさこい祭り」は2003年に高知市とスラバヤ市の姉妹都市交流行事として始まり、以来、スラバヤ市民に親しまれています。

今年のスラバヤよさこい祭りには、31チーム（1チーム約25名）の踊り子がそれぞれのよさこいを披露しました。厳しい審査を経て、ジャワ舞踊とよさこい踊りを美しく融合させ、統一感のある踊りを披露した「チャンディック・アユB」が総合優勝を勝ち取りました。参加チーム関係者はじめ、朝早くから審査や表彰式にご協力くださったEJJC理事長、SJSの先生方、日本人留学生の皆様、休日にもかかわらず会場までご足労いただきました方々へ心より御礼申し上げます。



総合優勝した チャンディック・アユB



子供の部の衣装賞：ムハマディヤ第11小学校

（スラバヤの象徴である鯨とワニを表現）



最優秀舞踏賞：NISEIKAI（アイルランガ大学）



審査員特別賞：A0ZORA（1945 年 8 月 17 日大学）